

はリンク

はWAMNETの事業者情報にリンク

事業所名

あんきな家

日付 平成 21年 2月 27日
特定非営利活動法人

評価機関名 ライフサポート

評価調査員 在宅介護経験8年

評価調査員 在宅介護経験15年

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

このホームは一般家庭での人数構成に近い形で生活することで、家庭での生活のように親密な人間関係を作ろうと、ホームの一階と二階にそれぞれ利用者が4人と5人という小さな単位で生活している。いつも身近に同じ仲間がいることにより、利用者同士や利用者職員との気心が知れて、家族のように親しく生活できている。仲間の体調を気遣うなど利用者同士がお互いを思いやっており、管理者もこの本当の家族のような親密な人間関係ができていることを誇りに思っている。

しかもこの一年間、百歳近い高齢の利用者たちに大きなレベル低下もなく、中には状態が改善されて積極的になった人もあるようだ。それは、職員が一人ひとりのことを十分に把握すると同時に、その時々に必要な適切な支援ができているためであると思う。利用者同士の自由な語りを見守りながら、時には声をかけたり一緒に歌ったりしている。見守りの対象人数が4～5人であるため、一人ひとりの様子や気持ちをよく把握でき、必要な誘導や介助はタイムリーに行っている。特別に何をするわけではなく日々のおしゃべりや時々のお楽しみごとを繰り返す生活が、これほど楽しそうに続いているのは、利用者の個性もあるうが、その個性を十分活かすための職員の励ましや裏方の支援があるからのように思う。

ホーム運営も年々新たな改善を試みており、家族との連携に大きな進歩があった。家族参加行事を計画段階から家族に相談し、大勢の家族に参加してもらうことができています。5月には庭でテントを張りバーベキューパーティーをして大変にぎわい、利用者も泣いて喜んだとのことだ。家族間の交流もできたとのこと、家族と共に利用者を支えることが出来るようになってきている。

大きな法人内のホームということもあり、地域住民との交流は中々難しいが、法人内の各施設の職員や利用者との交流、受け入れている研修生や学生との交流など、ホーム外の人との交流は活発に行われており、利用者も多くの人と触れ合うことができています。

特に改善の余地があると思われる点

さらに期待したいこと

法人内の4つグループホームで共同開催している運営推進会議は年4回開催しているが、地域住民に向けたものになっていないのは、地理的に隔離した法人の特殊性もあり、やむをえないかもしれない。しかし、ホームの運営を外部に知ってもらう目的のためにはどうしていけばよいか、運営推進会議の方向性を、4つのホームや法人全体で十分話し合ってもらいたい。

季刊で家族へ送る「たより」は、個人別の情報も入れて家族に喜ばれている。これはコピーを残して、ホームと利用者個人のすばらしい記録として保存してほしい。

2. 評価結果（詳細）

I 運営理念

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|------|---|-------|-----|
| 1 | 理念の具体化、実現及び共有 | | |
| 記述項目 | グループホームとしてめざしているものは何か | | |
| 記述回答 | <p>1. 自主評価について…：法人・管理者・職員はホームの理念実現に向かい常に向上心を持って臨んでいる。</p> <p>2. 全体を通して…：少数単位での生活をする事で、家族のような親密な人間関係を築くことによって、精神的な安定を図ろうとしている。少数のため、利用者同士や利用者職員との間にお互いを思いやる心が強くなり、また、職員も利用者の気持ちを掴みやすい。そのために、必要などき適切な支援をすることができる。利用者は好きなことを自由にしながら、必要な支援を受けられ、安心した生活ができる。のんびりと気ままに過ごせる雰囲気は、職員にとっても精神的な喜びのある空間となっているように思う。</p> | | |

II 生活空間づくり

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|------|--|-------|-----|
| 2 | 家庭的な共用空間作り | | |
| 3 | 入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり | | |
| 4 | 建物の外回りや空間の活用 | | |
| 5 | 場所間違い等の防止策 | | |
| 記述項目 | 入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か | | |
| 記述回答 | <p>1. 自主評価について…：特に改善点はないが、居室内のトイレは利用者も安心して暮らしている。</p> <p>2. 全体を通して…：4～5人という少ない人数単位で生活しているため、リビングルームなどは一般家庭並みの小さな規模で、利用者同士が近い距離にあり、ソファなどに自由に座り会話をするなど、親密な関係を作ることができている。職員手作りの飾りや小物、長年同居している小型犬も利用者の心を和ませている。広い庭には草花や野菜を植え、よい季節には食事会も行っている。法人敷地内は散歩コースである。</p> | | |

III ケアサービス

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|----|---------------------------|-------|-----|
| 6 | 介護計画への入居者・家族の意見の反映 | | |
| 7 | 個別の記録 | | |
| 8 | 確実な申し送り・情報伝達 | | |
| 9 | チームケアのための会議 | | |
| 10 | 入居者一人ひとりの尊重 | | |
| 11 | 職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ | | |
| 12 | 入居者のペースの尊重 | | |
| 13 | 入居者の自己決定や希望の表出への支援 | | |
| 14 | 一人のできることへの配慮 | | |
| 15 | 入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫 | | |
| 16 | 食事を楽しむことのできる支援 | | |
| 17 | 排泄パターンに応じた個別の排泄支援 | | |

III ケアサービス(つづき)

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|------|--|-------|-----|
| 18 | 排泄時の不安や羞恥心等への配慮 | | |
| 19 | 入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせて入浴支援 | | |
| 20 | プライドを大切にした整容の支援 | | |
| 21 | 安眠の支援 | | |
| 22 | 金銭管理と買い物の支援 | | |
| 23 | 認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保 | | |
| 24 | 身体機能の維持 | | |
| 25 | トラブルへの対応 | | |
| 26 | 口腔内の清潔保持 | | |
| 27 | 身体状態の変化や異常の早期発見・対応 | | |
| 28 | 服薬の支援 | | |
| 29 | ホームに閉じこもらない生活の支援 | | |
| 30 | 家族の訪問支援 | | |
| 記述項目 | 一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か | | |
| 記述回答 | <p>1. 自主評価について…：各項目についてよく努力し、より良いケアを目指しており、問題は無い。</p> <p>2. 全体を通して…：4～5人という小さな単位で生活しているため、利用者同士の気心が知れ、また職員も利用者一人ひとりのその時々様子や気持ちを把握しやすく、タイムリーな支援ができ、利用者も精神的に落ち着いた生活ができている。職員は、利用者が気ままに好きなことをし、仲よし同士がおしゃべりを楽しんでいるときは見守りしているが、必要に応じて声かけしたり話を聞いたり一緒に楽しんだりし、介助や誘導もタイムリーに行っている。職員が利用者一人ひとりの状態や気持ちを十分把握し、支援すべきことを十分理解している結果だと思ふ。介護計画や記録の様式についてもさらに研究し、より良いものを求めてほしい。</p> | | |

IV 運営体制

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|------|---|-------|-----|
| 31 | 責任者の協働と職員の意見の反映 | | |
| 32 | 災害対策 | | |
| 33 | 家族の意見や要望を引き出す働きかけ | | |
| 34 | 家族への日常の様子に関する情報提供 | | |
| 35 | 運営推進会議を活かした取組 | | |
| 36 | 地域との連携と交流促進 | | |
| 37 | ホーム機能の地域への還元 | | |
| 記述項目 | サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か | | |
| 記述回答 | <p>1. 自主評価について…：ホーム単独で取り組める項目では十分な取り組みをしている。</p> <p>2. 全体を通して…：有名法人内の一施設のため、職員の異動は研修・災害対策・地域交流などは法人全体で取り組んでいることが多い。ホーム内職員は管理者の思いをよく理解し、話し合いながらケアに取り組んでいる。家族には個人の様子を手書きしたたよりを発行したり電話をするなどして、十分に連絡を取り合い、行事などへも多数の参加をしてもらい、共に利用者を支えることができている。</p> <p>地域住民との交流はホーム単独では難しいが、地域の中学校の体験学習の訪問や、近隣グループホーム同士の交流もあり、利用者も喜んでいる。運営推進会議は4ホーム合同で行っており、ホームの状況報告などを行っている。法人の特殊性も考慮した上で、運営推進会議や地域交流の方向性を探ってほしい。</p> | | |